

## 第6回札幌私学交流戦 準優勝！

10月14日（日） 決勝 札幌スタジアム 12：00 開始

札幌日大	0	1	0	1	8	2	1 2
立命館慶祥	0	0	0	0	0	0	0

バッテリー：立命 横川・八十科・枝澤・西村—北原・桜間

（※大会規定により6回コールドゲーム）

☆秋季大会後の練習の成果が現われ、怪我で複数の2年生を欠きながらここまで勝ち進んできた立命館であったが、この日は攻守にちぐはぐ。前半は走者を出しながらも併殺で切り抜けるなど粘りながらもリズムに乗り切れず5回に投手陣が日大打線につかまり大差で敗退。今年度の私学交流戦を終えた。

☆大会を通じて、投手陣やサインプレーなどの試合運びに大きな成長が見られ、攻守にレベルアップすることができた。来シーズンへ向けて決勝戦で感じた課題とともに期待と自信が持てる結果を残した。大会運営に当たった審判員・幹事校である札幌第一高校のスタッフのみなさん有難うございました。

10月13日（土） 準決勝 立命館慶祥野球場 2：00 開始

札幌龍谷	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2
立命館慶祥	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1×	3

バッテリー：立命 八十科・横川・枝澤—桜間

（※延長12回サヨナラゲーム）

☆予選リーグとの再戦。予選では登板しなかった龍谷エース今江投手の気迫の投球の前に沈黙していた立命打線だったが、土壇場9回裏に川村の長打を足がかりにチャンスをつかむとWPで同点に追いついた。12回無死満塁のチャンスに桜間のサードゴロが野選となり日没寸前に決着が付いた。

### <決勝トーナメント>

